

令和7年度 あさひなのはな保育室 保育室の自己評価

① 法人理念

社会福祉法人わかば会は子どもの最善の利益を尊重しその保護者の就労と地域の子育て支援を目的として経営を行い地域の福祉を積極的に推進する

② 令和7年度あさひなのはな保育室の保育方針

- 1 一人一人の子どもの思いを丁寧に受け止め、個々の発達を理解し子どもに寄り添った前向きな保育を行う
- 2 四季折々の行事や、遊び等の様々な経験を通して、豊かな感性を育み自ら進んで生き生きと活動できるようにする
- 3 職員自ら積極的な挨拶や丁寧な言葉遣い、人との接し方等を行い子ども達の見本となる
- 4 保護者に子どもの育ちの姿を丁寧に伝え、成長や子育ての喜びを感じることができるよう支援する
- 5 職員は保育所の役割の多様化を理解し、自らの保育を振り返りながら、職務にふさわしい倫理観を身につけ、保育室全体の質の向上に努める

③ 令和7年度目指す子ども像（園目標）

- 1 心も体も元気な子
- 2 心の豊かな子
- 3 自ら進んで頑張る子

④ 令和7年度求める子どもの姿

健やかに 伸び伸びと育つ	あたたかな環境の下で受容され、自分のやりたいことを積極的に行いながら伸び伸びと身体を動かし、健康かつ安心して過ごすようになる 見守られながら、食事を摂る、着替え、トイレトレーニング等、身の回りのことを自分でできるようになる
身近な人と 気持ちが 通じ合う	身近な人に受容・応答されながら、自分の感情を表したり、保育者や友達と関わりながら言葉のやり取りやごっこ遊びを楽しんだりするようになる 安定した環境の下、身の回りの様々な人と関わりを持って過ごす中で、決まりがあることや相手の気持ちに気付くようになる
身近なものと 関わり・ 感性が育つ	主体性を尊重した生活や遊びを通して、探求心や好奇心、豊かな感性を身に付ける 身近な環境に親しみ触れ合う中で、植物、動物、自然現象に興味関心を持つようになる 友達や保育者、地域の方との触れ合いを通し、思いやりや信頼感を身に付け、見守られながら育つ喜びを味わう

⑤ 評価

自己評価の基準			
A よくできた			
B ほぼできている			
C 次年度以降努力義務			
領域	評価の観点	自己評価	
運営体制	1 能率的、合理的な運営組織になっているか	A	
	2 職務内容が明確で協働できる体制か	A	・職務内容を周知し協働体制をとることができた
	3 職員の配置は適材適所か	A	
	4 行事の分担や担当の振り分けは適切か	A	

運営体制	5	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	・適宜分担や担当の振り分けを見直し、担当が休んだ際等の対策を行うことができた
	6	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか	A	
	7	打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	B	・行事についての打ち合わせが前日や当日朝になってしまうことがあった為、シフトを調整し余裕を持った打ち合わせができるようにしていく
	8	保育方針の周知・反映はできているか	A	
	9	開かれた園の運営をしているか（地域への保育公開）	A	・ハロウィンや保育士体験等、多くの保護者や地域の方が参加できるよう対応した
保育目標	1	保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	
	2	目標は各施設や地域の特色を生かしているか	A	
	3	目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	4	目標は前年度の反省を生かしているか	A	
	5	目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A	
保育計画	1	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	
	2	保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	A	
	3	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	4	素材・用具を適切に活用しているか	A	
	5	評価結果を基に保育の改善に努めているか	A	
年齢別・クラス経営・日々の保育	1	年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか	A	
	2	年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A	・個々の発達に合わせながら計画を立て職員間で共有し目標達成へと努めることができた
	3	年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
	4	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	A	
	5	意義や趣旨を理解した保育を行っているか	A	・行事や保育の意義や趣旨を意識しながら内容を検討することができた
	6	質の高い保育の提供意欲はあるか	A	・職員間で様々な保育案を出し合い、より良い保育を目指すことができた
	7	指導の工夫改善をしているか	A	・職員に指導方法について提案したり、個別に指導方法を伝えたりすることで改善することができた

年齢別・クラス経営・日々の保育	8 気になる子への対応は適切か	A	
	9 特色ある教育活動を取り入れているか	A	
	10 1日の流れは現行で良いか	A	・1日1回は散歩の時間を計画し実行することができた
	11 伸び伸びと遊べる環境提供ができているか	A	・短い時間でも戸外遊びの時間を作り、のびのびと健康的に過ごすことができた
	12 道徳性の芽生えができるような取り組みをしているか	A	・日々の散歩や訪問者、訪問先での挨拶を随時伝えることができた
	13 年齢に合わせた生活習慣指導ができているか	A	・着替えや手洗い等、年齢に応じた指導を行うことができた
	14 身近な人への親しみが持てるような取り組みをしているか	A	
	15 幼児の人間関係は円滑か	A	
	16 子どもと保護者と保育者の信頼関係は築けているか	A	・子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら対応し、信頼関係は築けた
	17 園児は園への適応をしているか	A	
	18 年齢に応じた食育活動を行っているか	A	・野菜を育て収穫し、育てた野菜を食べたりおやつ準備をしたり楽しみながら食育活動を行うことができた
	19 主体的に学びが芽生えるような取り組みを行っているか	A	
	20 体力が向上するような活動をしているか	A	・散歩や公園遊びの時間を多く取り入れ、十分な機会を作ることができた
	21 振り返りや発達の記録を適切に集積できているか	A	
行事	1 行事の種類や実施回数は適切か	A	
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	A	
	3 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか	A	
	4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	5 保護者の願いや意見を取り入れているか	A	・保護者の意見や希望を柔軟に受け止め、精査しながら対応した
	6 行事への取り組みは全職員共通理解のもと進めているか	A	
保健・安全指導	1 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	A	
	2 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	・毎月避難訓練を実施し、様々な災害を想定して対応できるよう努めた
	3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか	A	
	4 乳幼児の安全確保の為家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A	
	5 年齢に合わせた健康・安全指導を行っているか	A	

研究・研修	1	研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	2	園内研修の計画・運営は適切か	A	
	3	研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	・全体会議や朝礼等を通して職員で周知し、日々の保育に活かすことができた
	4	研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A	
	5	外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	・研修予定を掲示し、個別に声を掛けることで、多くの職員が研修に参加することができた
	6	外部の各種研究会、研修会、講習会の内容を園内で共有しているか	A	
情報	1	乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか	A	
	2	公文書収受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	3	各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	
施設・整備	1	施設・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	
	2	遊具・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか	A	
	3	不審者等への対策を機関と連携し行っているか	A	
	4	衛生環境の整備に配慮しているか	A	
	5	掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか	A	
出納経理	1	各種会計を適切且つ適正に処理しているか	A	
保護者	1	保護者との連携は取れているか	A	
	2	親支援となる活動を行っているか	A	・雑談会や送迎等、適宜話を聞きコミュニケーションを図ることができた
施設間交流・連携	1	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか	A	
	2	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか	A	
	3	指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	

施設間交流・連携	4	参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか	A	・小学校の授業参観に参加することで、現状を知り、乳幼児期に必要な活動を考え、保育計画に取り入れることができた
	5	日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか	A	
	6	幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか	A	・幼保小中連絡協議会を通し、他機関の研究発表への参加や情報交換を行い連携することができた
家庭・地域社会との連携	1	参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか	A	
	2	保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
	3	乳幼児の興味関心に基づいて地域社会その他施設と交流しているか	A	
	4	地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか	A	
子育て支援の推進	1	地域の子育て支援の場として園庭や交流事業を実施しているか	A	
	2	地域に住む子ども同士あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか	A	
	3	「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	B	・地域や講演会案内等を配布したり掲示したりしているが、参加者が増えない為個別に参加を促していく
	4	職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	A	
	5	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
情報の発信	1	園の公開に努めているか（自己評価の公表等）	A	
	2	保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	・定期的にブログを更新することができた
	3	行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	
園内・外部評価	1	保育の評価を行っているか	A	
	2	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	C	・予算等も含め検討していく
	3	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	

⑥ 総合評価と次年度への課題

- ・様々な研修を全体会議や個別案内、園内掲示を行い丁寧に職員全体に伝えることで各職員が自らのスキルアップを考え積極的に受講し、保育の質向上に努めることができた
- ・保護者が話をしやすい雰囲気作りを心掛け、丁寧に相談に乗ったり保護者を対象とした雑談会を実施したりすることで保護者との信頼関係を築くと共に保護者支援を行うことができた